

月別売上高表

4号 5号 (全体) 5号 (兼業②) 5号 (兼業③) ※兼業②又は③の場合、5号 (全体) と5号 (兼業②又は③) の2通必要

(単位：円)

	根拠 平成31年/令和元年	根拠 令和2年	根拠 令和3年	根拠 令和4年	根拠 令和5年	根拠 令和6年	見込
1月							
2月							
3月							
4月							
5月							
6月							
7月							
8月							
9月							
10月							
11月							
12月							

【売上高の疎明書類】 売上高表の記載金額の引用元になった確認書類 (複数ある場合は全て) にチェックして下さい。なお、見込額の確認資料のチェックは不要です。

試算表 法人事業概況説明書 青色・白色申告決算書 総勘定元帳等の元帳類 請求書 その他 ※具体的に記載 ()

上記各項目に記載した金額は、当社の売上高と相違ありません。

令和 年 月 日

住所

法人名

又は屋号

代表者職・氏名

金融機関による代理申請の場合、書類一式を複数名で確認し、担当者氏名と確認者氏名を必ずフルネームで記載して下さい。

金融機関使用欄

担当者氏名

確認者氏名

■記載要領■ 以下のとおり月別売上高表に記載して下さい。

- ① 最近1か月を含む年：○1月～最近1か月までの売上高
○見込額が必要な申請は2か月分の見込額
- ② ①の前年：○1月～12月までの全ての売上高
- ③ 比較対象月を含む年：○1月～12月までの全ての売上高

※注意事項※

- ・ 比較対象月全ての「根拠」及び「見込」欄に●を記載して下さい。
- ・ 売上高が0円の月は0と記載して下さい。
- ・ 売上高は、消費税込又は消費税抜のどちらかで統一して下さい。
- ・ 原則として、**新型コロナウイルス感染症の影響を受ける直前同期 (前年等) と比較して下さい。**

月別売上高表

4号 5号 (全体) 5号 (兼業②) 5号 (兼業③) ※兼業②又は③の場合、5号 (全体) と5号 (兼業②又は③) の2通必要 (単位: 円)

根拠	該当の申請を選択して下さい。	令和2年	根拠	令和3年	根拠	令和4年	根拠	令和5年	根拠	令和6年	見込
1月	<input type="radio"/> 6,115,115 ●	7,678,910	令和2年2月以降、新型コロナウイルスの影響を受けている (比較対象月には出来ない) 注: 影響を受け始めた時期は事業者ごとに異なります。			5,456,789		5,456,789 ●		4,546,788	
2月	● 7,009,070					6,987,654		6,987,654 ●		6,500,000 ●	
3月	● 5,345,891	5,009,070				4,456,789		4,456,789 ●		4,000,000 ●	
4月	7,987,654	5,345,891				7,678,910		7,678,910			
5月	7,89	6,987,654			6,115,115		6,115,115				
6月	9,10	5,456,789			7,009,070		7,009,070				
7月	8,55	4,678,910			5,345,891		5,345,891				
8月	6,456,789	4,123,456	比較対象月を含む年は全ての月の売上高を記入		54		7,987,654				
9月	7,987,654	7,580,855			8,456,789		8,456,789				
10月	8,754,666	6,456,789			7,678,910		7,678,910				
11月	9,954,555	7,987,654			4,123,456		4,123,456				
12月	9,456,789	7,009,070	必ず1種類以上選択してください。		6,580,855		6,580,855				

令和2年2月以降、新型コロナウイルスの影響を受けているため、2・3月の比較年は平成31年/令和元年になります。

比較対象月を含む年は全ての月の売上高を記入

最近1か月を含む年は直近月までを、その前年は1月～12月の売上高を全て記入

申請書記載の対象月は●を選択または記入

見込が必要な申請の場合は●を選択または記入

個人事業主で、青色、白色申告決算書の売上高に雑収入や不動産収入等がある場合は原則全て含めてください。ただし、給付金等は除外し余白や付箋等にその旨の説明を補記して下さい。

【売上高の疎明書類】 売上高表の記載金額の引用元になった確認書類 (複数ある場合は全て) にチェックして下さい。なお、見込額の確認資料のチェックは不要です。

試算表 法人事業概況説明書 青色・白色申告決算書 総勘定元帳等の元帳類 請求書 その他 ※具体的に記載 ()

上記各項目に記載した金額は、当社の売上高と相違ありません。

令和 年 月 日

住所 (自宅) 名古屋市〇区〇〇
(事業所) 名古屋市〇区〇〇

法人名 または屋号 なごや

役職・代表者名 名古屋花子

金融機関による代理申請の場合、書類一式を複数名で確認し、担当者氏名と確認者氏名を必ずフルネーム

申請者の住所は以下を記載
【法人の場合】
登記上の本店所在地
【個人事業主の場合】
事業所住所と自宅住所を併記

金融機関使用欄	
担当者氏名	確認者氏名
名古屋太郎	尾張鯨雄

■記載要領■ 以下のとおり月別売上高表に記載して下さい。

- ① 最近1か月を含む年 : ○1月～最近1か月までの売上高
○見込額が必要な申請は2か月分の見込額
- ② ①の前年 : ○1月～12月までの全ての売上高
- ③ 比較対象月を含む年 : ○1月～12月までの全ての売上高

※注意事項※

- ・ 比較対象月全ての「根拠」及び「見込」欄に●を記載して下さい。
- ・ 売上高が0円の月は0と記載して下さい。
- ・ 売上高は、消費税込又は消費税抜のどちらかで統一して下さい。
- ・ 原則として、**新型コロナウイルス感染症の影響を受ける直前同期 (前年等) と比較して下さい。**

月別売上高表

4号
 5号 (全体)
 5号 (兼業②)
 5号 (兼業③)
 ※兼業②又は③の場合、5号 (全体) と5号 (兼業②又は③) の2通必要
 (単位：円)

根拠	平成31年/令和元年	根拠	令和2年	根拠	令和4年	根拠	令和5年	根拠	令和6年	見込
	5,115,115 ●		6,67						3,546,788 ●	
1月										
2月	● 6,009,070		5,11						● 5,500,000 ●	
3月	● 4,345,891		4,00						● 3,000,000 ●	
4月	5号 (兼業②) 指定業種であり主たる業種の各月の売上高を記入。 ※兼業者2の場合、この様式1通と事業全体の売上高が記載された月別売上高表1通の計2通が必要です。									
5月										
6月										
7月										
8月	5,456,789		3,123,456				6,987,654		6,987,654	
9月	6,987,654		6,580,855				7,456,789		7,456,789	
10月	7,754,666		5,456,789				6,678,910		6,678,910	
11月	8,954,555		6,987,654				3,123,456		3,123,456	
12月	8,456,789		6,009,070				5,580,855		5,580,855	

内容に応じて選択してください。
 主たる業種 (兼業2) ... 兼業をしております、主たる業種が指定業種に該当する方

【売上高の疎明書類】 売上高表の記載金額の引用元になった確認書類 (複数ある場合は全て) にチェックして下さい。なお、見込額の確認資料のチェックは不要です。
 試算表
 法人事業概況説明書
 青色・白色申告決算書
 総勘定元帳等の元帳類
 請求書
 その他 ※具体的に記載 ()

上記各項目に記載した金額は、当社の売上高と相違ありません。

令和 年 月 日

住所 (自宅) 名古屋市〇区〇〇
 (事業所) 名古屋市〇区〇〇

法人名
 または屋号 なごや

代表者職・氏名 名古屋花子

金融機関による代理申請の場合、書類一式を複数名で確認し、担当者氏名と確認者氏名を必ずフルネームで記載して下さい。	
金融機関使用欄	
担当者氏名	確認者氏名
名古屋太郎	尾張鯨雄

■記載要領■ 以下のとおり月別売上高表に記載して下さい。

- ① 最近1か月を含む年：○1月～最近1か月までの売上高
○見込額が必要な申請は2か月分の見込額
- ② ①の前年：○1月～12月までの全ての売上高
- ③ 比較対象月を含む年：○1月～12月までの全ての売上高

※注意事項※

- ・比較対象月全ての「根拠」及び「見込」欄に●を記載して下さい。
- ・売上高が0円の月は0と記載して下さい。
- ・売上高は、消費税込又は消費税抜のどちらかで統一して下さい。
- ・原則として、**新型コロナウイルス感染症の影響を受ける直前同期 (前年等) と比較して下さい。**

月別売上高表

4号
 5号 (全体)
 5号 (兼業②)
 5号 (兼業③)
 ※兼業②又は③の場合、5号 (全体) と5号 (兼業②又は③) の2通必要
 (単位：円)

根拠	平成31年/令和元年	根拠	令和2年	根拠	令和3年	根拠	令和4年	根拠	令和5年	根拠	令和6年	見込				
1月	2,115,115 ●		3,078,910		内容に応じて選択してください。 指定業種 (兼業3) ・ ・ ・ 1以上の指定業種を行っている方 (主たる業種に限らない。)						1,746,788					
2月	2,709,070 ●		2,115,115													2,500,000 ●
3月	2,145,891 ●		2,009,070									1,456,789		1,456,789 ●		1,700,000 ●
4月	<div style="border: 2px solid red; padding: 10px;"> 5号 (兼業③) 1以上の指定業種に属する事業 (合算値で可) の売上高の各月の売上高を記入。 ※兼業者3の場合、この様式1通と事業全体の売上高が記載された月別売上高表1通の計2通が必要です。 </div>															
5月																
6月																
7月																
8月	2,456,789		1,123,456				2,987,654		2,987,654							
9月	3,987,654		2,580,855				3,456,789		3,456,789							
10月	3,754,666		2,456,789				2,678,910		2,678,910							
11月	4,954,555		2,987,654				1,123,456		1,123,456							
12月	3,456,789		2,009,070				2,580,855		2,580,855							

【売上高の疎明書類】 売上高表の記載金額の引用元になった確認書類 (複数ある場合は全て) にチェックして下さい。なお、見込額の確認資料のチェックは不要です。

試算表
 法人事業概況説明書
 青色・白色申告決算書
 総勘定元帳等の元帳類
 請求書
 その他 ※具体的に記載 ()

上記各項目に記載した金額は、当社の売上高と相違ありません。

令和 年 月 日

住所 (自宅) 名古屋市〇区〇〇
(事業所) 名古屋市〇区〇〇

法人名
または屋号 なごや

代表者職・氏名 名古屋花子

金融機関による代理申請の場合、書類一式を複数名で確認し、担当者氏名と確認者氏名を必ずフルネームで記載して下さい。	
金融機関使用欄	
担当者氏名	確認者氏名
名古屋太郎	尾張鯨雄

■記載要領■ 以下のとおり月別売上高表に記載して下さい。

- ① 最近1か月を含む年：○1月～最近1か月までの売上高
○見込額が必要な申請は2か月分の見込額
- ② ①の前年：○1月～12月までの全ての売上高
- ③ 比較対象月を含む年：○1月～12月までの全ての売上高

※注意事項※

- ・ 比較対象月全ての「根拠」及び「見込」欄に●を記載して下さい。
- ・ 売上高が0円の月は0と記載して下さい。
- ・ 売上高は、消費税込又は消費税抜のどちらかで統一して下さい。
- ・ 原則として、**新型コロナウイルス感染症の影響を受ける直前同期 (前年等) と比較して下さい。**